

参議院自由民主党政策審議会長

参議院議員・薬剤師

藤井 基之

## 平成4年度補正予算

平成4年度補正予算は5月31日に開催の参議院本会議にて可決、成立しました。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症により国民生活や経済への影響が継続するなか、ロシアによるウクライナ侵略等を背景に、原油や穀物等の価格や供給の不安定化など先行きの不確実性は高くなっており、今後の新型コロナウイルス感染症の再拡大や原油価格、物価の更なる高騰等による予期せぬ財政需要に迅速に対応し、国民の安心を確保するため、原油価格高騰対策に係る経費及び新型コロナウイルス感染症対策予備費等、約2兆7千億円を計上しています。

また、政府は「経済財政運営と改革の基本方針2022」（いわゆる骨太の方針2022）を6月7日に閣議決定しました。

本方針では、新型コロナウイルス感染症対策について、医療提供体制の強化を進め、1日も早い経済社会活動の正常化を目指すとともに、これまでの新型コロナウイルス感染症対応を客観的に評価し、次の感染症危機に備えて、本年6月を目途に、危機に迅速・的確に対応するための司令塔機能の強化や保健医療体制の確保など、中長期的観点から必要な対応を取りまとめるとしています。

この他、オンライン資格確認について、保険医療機関・薬局に、2023年4月から導入を原則として義務付けるとともに、患者によるマイナンバーカードの保険証利用が進むよう、関連する支援等の措置を見直すこと。2024年度中を目途に保険者による保険証発行の選択制の導入を目指し、さらにオンライン資格確認の導入状況等を踏まえ、保険証の原則廃止を目指すこと等も記されています。

国会は6月15日に会期末を迎え、論戦の場は国会から選挙戦へと移ります。後継の神谷政幸さんに確実にバトンを渡せるよう、国会議員として最後の大切な役目を果たして参りたいと思います。